

台耕地稻荷塚古墳(大宮市)

だいこうじいなりづかこふん

前方の柵の中に高まりがある





台耕地稲荷塚古墳の説明板/劣化していて良く読めない



これが東側から見た側ヶ谷戸古墳群の一つ、台耕地稲荷塚古墳/円墳/7世紀前半の築造とされる



北西側から見る/墳頂は稲荷社が建っている



反対の道路へ行って南東側から見る



南側から見たところ/左手にも説明板が立っている



大宮市指定文化財史跡

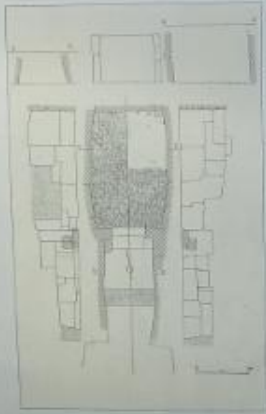
側ヶ谷戸古墳群 台耕地稲荷塚古墳

所在地 大宮市三橋四丁目九八五番地
指定 昭和三十三年三月六日

側ヶ谷戸古墳群のなかでは最も南に位置する古墳で、昭和四十年に発掘調査を行いました。墳丘の高さは約二m、径は周溝の内側で約三十mの円墳で、周溝の一部には開口部があったものと思われます。遺体を納めた施設は全長四・四mの両袖形式の横穴式石室で、胴の張った平面形が特徴的です。

石室より水晶製切子玉・ガラス製小玉・土製漆塗小玉などの装飾品と太刀・刀子・鉄鏃などの武器類が副葬品として出土しました。

この古墳が築かれたのは石室のかたちや出土品からみて六〇〇年代と考えられます。

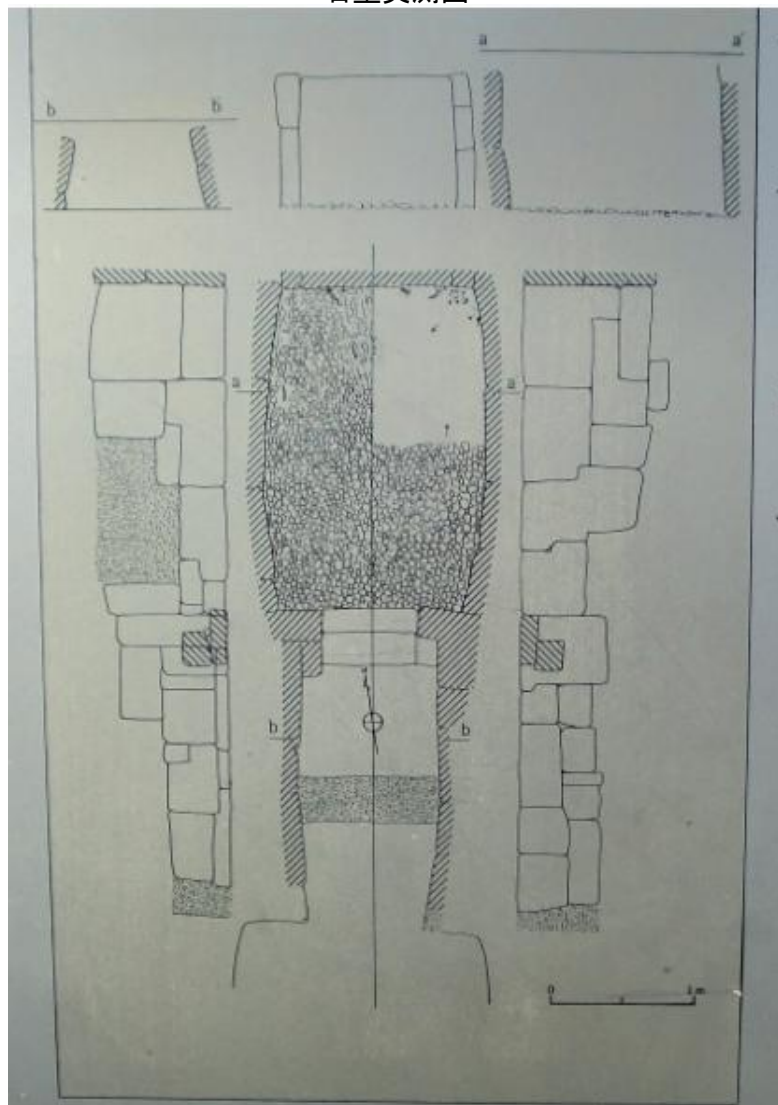


石室実測図

大宮市教育委員会

平成八年三月

石室実測図



石室実測図



古墳を大切にしましょう

鴨川の東側にあたるこのあたり
(三橋四丁目) は、古墳が多く集
まっている地域で、側ヶ谷戸古墳
群と呼んでいます。六世紀後半
八世紀初頭にかけて築造されたも
ので、大宮市指定史跡に指定され
ています。

大宮市の古代史を刻む、学術・
教育上の貴重な文化財ですので、
指定区域内に入らないで見学して
ください。

昭和五十六年二月

大宮市教育委員会

文化財を大切にしましょう

南西側から見る



さて、墳頂に登ってみよう





稲荷社が建つ





墳頂から南西方向を見る



境頂から南方向を見る



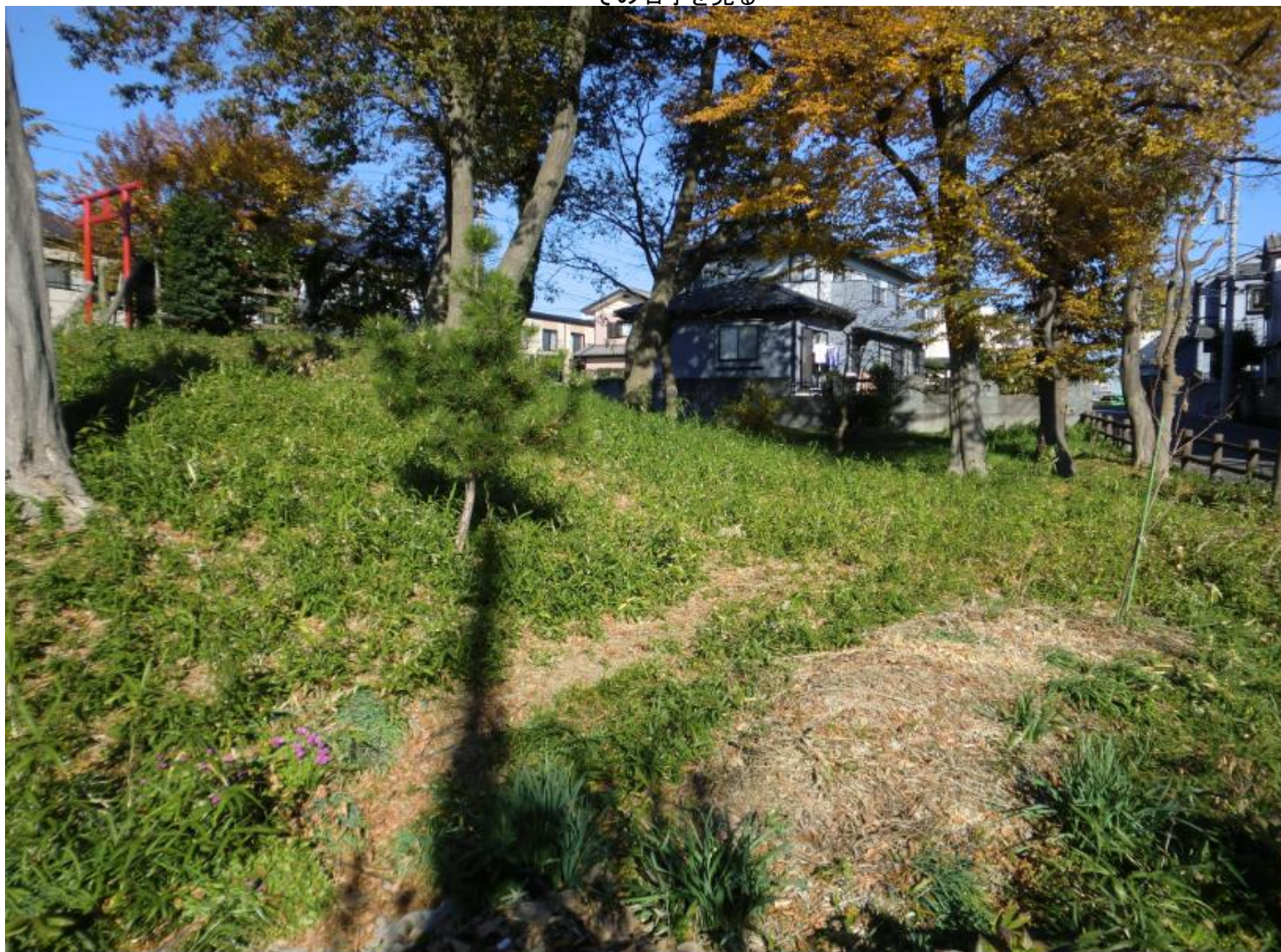
墳丘の西面を南から北方向に見る



南側から墳丘を見上げる



その右手を見る



墳丘の東面を南から北方向に見る



東側から見る



参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/saitama_dinari/

<http://www.city.saitama.jp/www/contents/1268894136357/index.html>

http://www.asahi-net.or.jp/~fx3j-aid/kofun/saitama/12_omya/soba.html

<http://kofunnomori.web.fc2.com/saitama/omiya/dai.htm>

<http://homepage3.nifty.com/kofun/kyuiruma/sobagayato/daikouchi/index.html>

<http://blog.goo.ne.jp/daidi/e/78adc7615660b9d04f90518740ff17dc>

http://standardization.at.webry.info/201112/article_3.html

<http://saitamanpo.zouri.jp/about.html>

<http://paralleli.life.coocan.jp/kofunblog2/?p=37>

